

議会が生きる地方政治へ

I 首長(行政)は見えるが、議会は見えてこない地方自治

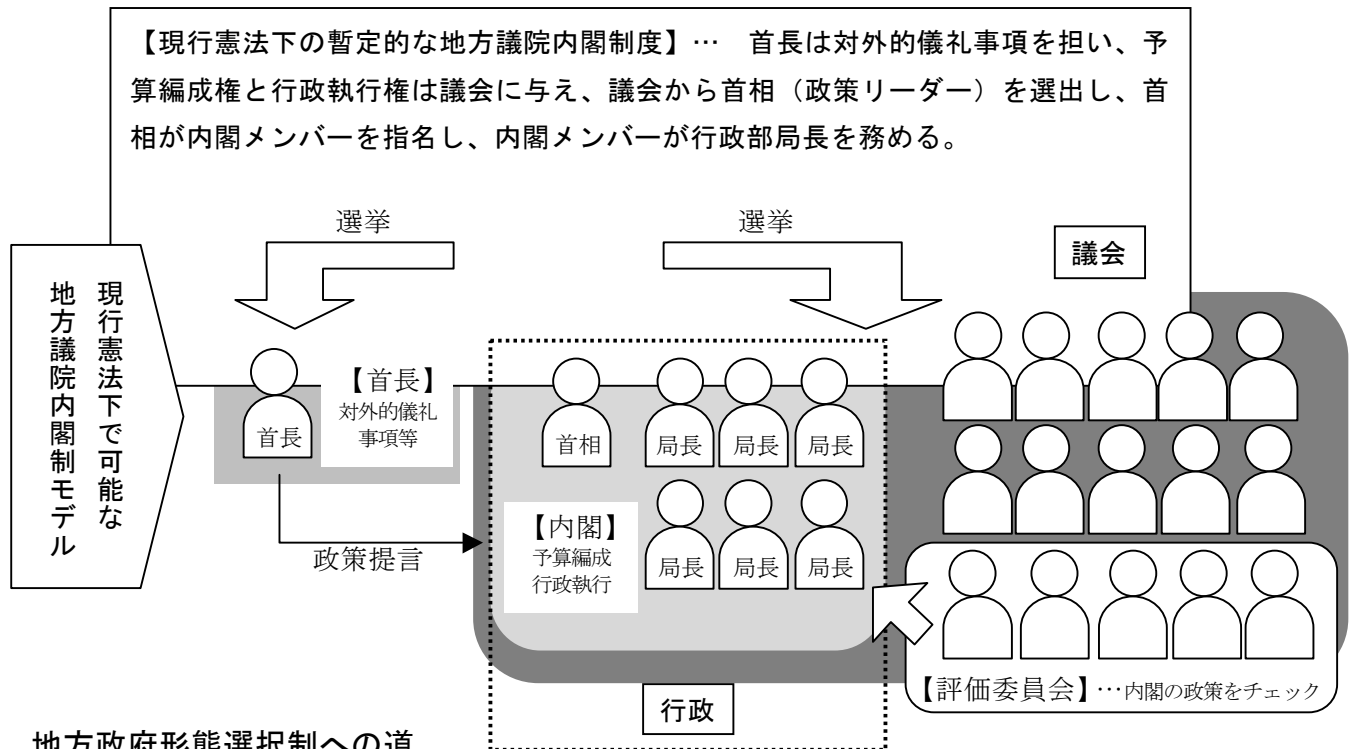
- ◇水面下の折衝が多い現実⇒市民には見えない「ブラックボックス」
- ◇国政のように政策論点が見えない地方議会

II 現行二元代表制下の七不思議

- その① 予算審議前の予算要望…議会は首長の補助機関か？
- その② 予定調和の議会は終わらないのか…行政職員に質問する委員会
- その③ 国政政党の延長線上にない地方議会の構図と党議拘束
- その④ 「貴重なご意見頂きました、参考にさせていただきます」を連発する行政
- その⑤ 二元代表制下の禁じ手・首長与党という怪奇…だから予算は否決出来ない
- その⑥ 議会から行政に「条例を作りなさい」…立法も行政の掌の上
- その⑦ 議会制民主主義下で議会は無用と思われる悲劇

III 議会からリーダーを選出する「地方議院内閣制」も選択可能に

- ◇地方議会はこのままではいられない ⇒ 自己変革と二元代表の呪縛からの解放
- ◇本来は議会こそが予算編成、政策・都市計画の立案主体
- ◇現行憲法下の二元代表を維持しながらでも暫定的な議院内閣制は可能



IV 地方政府形態選択制への道

- ◇世界の地方自治の王道
- ◇予算編成権と行政執行権を議会に
- ◇住民投票による地方政府の基本構造の決定と、自治憲章の制定を